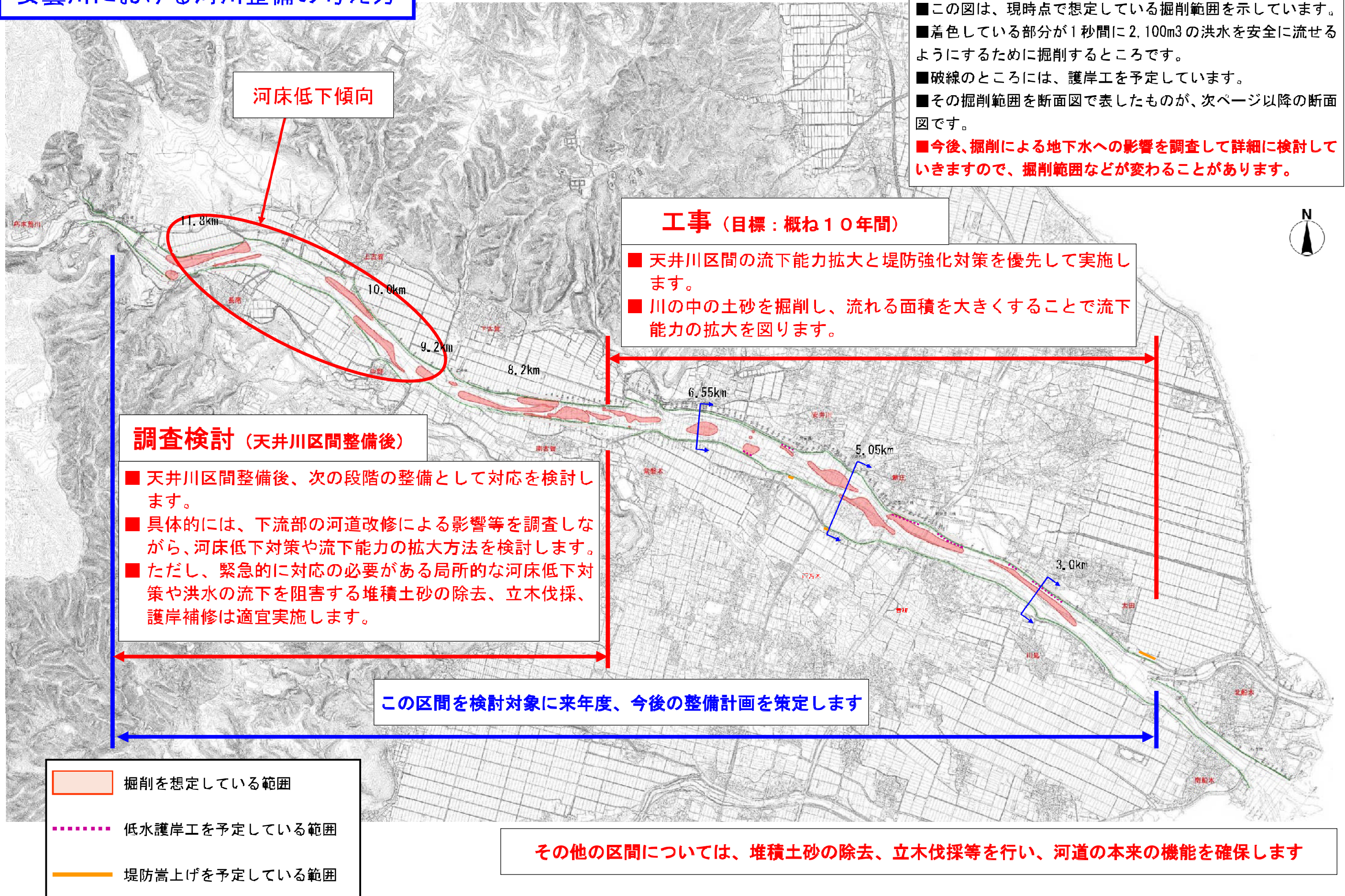


# 安曇川における河川整備の考え方



河床低下傾向

- この図は、現時点で想定している掘削範囲を示しています。
- 着色している部分が1秒間に2,100m<sup>3</sup>の洪水を安全に流せるようにするために掘削するところです。
- 破線のところには、護岸工を予定しています。
- その掘削範囲を断面図で表したものが、次ページ以降の断面図です。
- 今後、掘削による地下水への影響を調査して詳細に検討していきますので、掘削範囲などが変わることがあります。

## 工事（目標：概ね10年間）

- 天井川区間の流下能力拡大と堤防強化対策を優先して実施します。
- 川の中の土砂を掘削し、流れる面積を大きくすることで流下能力の拡大を図ります。

## 調査検討（天井川区間整備後）

- 天井川区間整備後、次の段階の整備として対応を検討します。
- 具体的には、下流部の河道改修による影響等を調査しながら、河床低下対策や流下能力の拡大方法を検討します。
- ただし、緊急的に対応の必要がある局所的な河床低下対策や洪水の流下を阻害する堆積土砂の除去、立木伐採、護岸補修は適宜実施します。

この区間を検討対象に来年度、今後の整備計画を策定します

- 掘削を想定している範囲
- 低水護岸工を予定している範囲
- 堤防嵩上げを予定している範囲

その他の区間については、堆積土砂の除去、立木伐採等を行い、河道の本来の機能を確保します